

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	30 公園・緑地 ー公園を増やし、緑地の保全に努めますー					
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト 美しくにぎわいのあるまちプロジェクト					
主管課	都市政策部 公園緑地課	評価責任者				櫻井 進一	
		評価日				令和3年5月28日	
関連課	都市計画課						
目標	市民が親しみを持って快適に利用できる公園の配置・整備を計画的に進めるとともに、公園等愛護会をはじめとした市民団体やボランティアと市の協働体制を強化し、公園・緑地の適正な維持管理を行います。						
施策目標の実現に向けた取組	(1) 公園・緑地の整備 ○「ふじみ野市緑の基本計画」に基づき、地域バランスに配慮した公園の整備と市街地の緑化を推進し、緑のネットワーク化を図ります。 ○公園に設置されている遊具などの安全点検を実施し、計画的に改修を行います。 (2) 公園・緑地の維持管理 ○地域住民による公園の管理を進めるために、公園利用を促進するルールづくりや公園等愛護会をはじめとした市民団体・ボランティアの維持管理活動の周知などを通して、担い手の育成を行います。						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標 1	指標名	1人当たりの公園等面積					
		説明	令和元年にふじみ野市第2運動公園が、令和2年度にはふじみ野市運動公園拡張部の子ども広場が完成したことから、2年連続で公園面積は増加している。					
		単位	㎡/人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3.60	3.90	4.20	4.50	5.00	5.00
		実績値	3.10	3.40	3.45			
	指標 2	指標名	公園のリニューアル箇所数					
		説明	西中央公園の流水施設、ココネ広場のベンチ、ふれあい公園の舗装改修及び雨水対策、運動公園拡張部の整備等、地域に合わせた整備を行った。					
		単位	箇所					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	6	8	10	12	14
		実績値	6	8	12			
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
指標 4	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	866,689	728,339	323,120	354,958		
	人件費	36,433	35,901	54,869	55,594		
収入	特定財源	669,278	468,838	13,253	144,100		
	一般財源	233,844	295,402	364,736	266,452		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	公園・緑地の整備	運動公園拡張部の整備を行い、市民の健康増進への意欲を高められるよう魅力ある施設整備を進める。	運動公園拡張部が11月にオープンし、利用者から好評を得ている。完成したことにより、1人当たりの公園等面積が増加した。	公園管理事業
取組②	公園・緑地の整備	公園遊具の更新について、職員や事業者で安全点検を実施し、適正な公園の配置・整備を進める。	安全点検を実施し、遊具等の安全を確認した。危険と判断されたものについて撤去・修繕を行い、市民が安心して利用できるようになった。 また、西中央公園、ココネ広場、ふれあい公園の更新整備を実施し、地域の意見を反映した公園となった。	公園管理事業
取組③	公園・緑地の維持管理	公園・緑地の清掃や花壇等の手入れ等を行うことを目的とした愛護会等の団体の確保に努め、地域の活性化、緑化推進を進めると同時に、人材育成を行う。	愛護会活動の一つとして、花苗の提供を行い、地域の市民と一緒に緑化活動を実施した。また、活動内容や人材について意見交換を行い、団体の意見や抱えている問題等を把握することができた。	公園管理事業 緑化推進事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

		評価
指標の達成状況	運動公園等の整備は令和2年度で完了した。運動公園は野球場の外野フェンス、第2運動公園は多目的球場の土埃について課題があることから課題解決に向けての方策を検討する。	
おおむね順調	公園の更新については限られた予算を効率的に使い、目標に向けて順調に更新を行っている。また、遊具等の老朽化が進んでおり、更新時期を迎えていることから公園の個別施設計画を策定した。今後は、個別施設計画に基づき、適宜必要な更新・修繕を実施していく。	
行政資源の活用	公園・緑地の維持管理については、業務委託の他に公園等愛護会にも公園清掃や花植え等の活動をしてもらっている。市は引続き公園等愛護会への補助を行い、人材の確保や会の新設等を呼びかけていく。	
おおむね適切	1人当たりの公園等面積については、運動公園、第2運動公園の整備により面積が上昇した。今後は開発に伴う提供公園の受け入れによる面積増が中心となるため、大きく使いやすい公園を確保できるよう調整を行っていく。	
取組の有効性	生産緑地については、面積要件緩和の条例を令和元年度に制定したことにより令和2年度は8地区の新規指定を行った。引続き追加指定についてのお知らせを行い、更なる生産緑地の確保に努めていく。	
おおむね有効	特定生産緑地については、令和3年度に指定するためのお知らせと申込用紙の送付を関係地権者に対して行った。令和3年度は申込を受け付け、1回目の指定に向けて手続きを進めていく。また、令和4年度の2回目の指定に向けて再度お知らせと申込用紙の送付を行う。	
施策の効果		
効果が得られている		

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		公園緑地管理事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	30 公園・緑地 ー公園を増やし、緑地の保全に努めますー		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 04公園費		
所管部課		都市政策部 公園緑地課	評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		昭和31年～	評価日	令和3年6月23日
個別計画 根拠法令・条例等		都市公園法、都市緑地法、ふじみ野市都市公園条例、ふじみ野市みどりの条例、ふじみ野市緑の基本計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	市民だれもが安心して、安全にくつろげる憩いの場である公園・緑地（緑道を含む）を良好な状態に保つため、維持管理を推進する。		
	事務事業の経緯	市内162箇所の公園・緑地（緑道を含む）の維持管理を実施している。 ※令和2年度より公園管理事業と緑地管理事業が統合され公園緑地管理事業となった。 よって、令和元年度実績は公園管理事業の事業費（決算額）となっている。		
	事務事業の概要	市内の公園・緑地（緑道を含む）の維持管理（162箇所） 維持管理のため業務委託の実施 都市公園法等に基づく許認可 愛護会による公園・緑地の管理支援 公園緑地等整備工事の実施 大井弁天の森特別緑地保全地区の公有地化		
	令和2年度の主な取組	公園・緑地（緑道を含む）の維持管理を行った。 公園の利用申請受付、許可業務を行った。 公園・緑地愛護会への活動支援を行った。 公園（西中央公園、ココネ広場、ふれあい公園、ふじみ野市運動公園）のリニューアルを行った。 大井弁天の森特別緑地保全地区（第2期）の都市計画決定を行った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2,50	4,41	4,50
		人件費	19,945	35,532	36,257
	再任用職員	従事人数(人)	0,00	0,00	0,00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0,00	0,00	0,00
	人件費	0	0	0	
人件費計		19,945	35,532	36,257	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	26,143	30,898	28,349	
	委託料	110,051	129,178	121,771	
	使用料及び賃借料	4,647	5,735	6,952	
	工事請負費	118,624	97,461	100,300	
	負担金、補助及び交付金	134	9	81	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	3,432	3,678	43,088		
支出合計		282,976	302,491	336,798	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	15,600	6,000	12,700
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	620	481	509
		分担金・負担金	312	308	300
		地方債	14,000	5,400	22,800
		基金	73,701	0	107,525
		その他	100	100	50
一般財源		178,643	290,202	192,914	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,562	2,497	1,684	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公園のリニューアル箇所数		
	説明	市民にとって安全・安心で快適に利用できる公園を提供するため、公園をリニューアルする（令和5年度までに計14箇所） ※公園リニューアルとは、広場（通路・出入口を含む）、遊具、休憩施設、トイレ、各種設備等の新設（撤去含む）または改修及び樹木の剪定・伐採することを指す		
活動	単位	箇所		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	6	8	10
	実績値	8	12	
指標 2	指標名	1人当たりの公園等面積		
	説明	市民へ快適な生活環境を提供するため、人口1人当たりに占める公園等面積（公園+緑地+緑道）を増やす		
成果	単位	m ²		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	3.90	4.20	4.50
	実績値	3.40	3.45	
指標 3	指標名	大井弁天の森用地取得【令和2年度新規指標】		
	説明	花見など市民の憩いの場として親しまれている大井弁天の森を確実に保全していくために、賃貸借契約を締結している私有地（全6箇所）の用地取得を令和3年度から行う。 令和2年度は「大井弁天の森特別緑地保全地区」の整備計画を立ち上げ、都市計画決定の手続きを行う。 令和3年度から令和7年度で用地取得を行う。		
成果	単位	箇所		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	0	1
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>点検・修繕・除草・樹木剪定などの維持管理を適切に行い、良好な公園環境の整備に努めた。また、公園等には老朽化した樹木があるため診断等を行い、倒木・枝折れなどの恐れのある樹木に対し早期手入れを実施し、事故の未然防止対策を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園面積 開発行為等で提供公園の計画が出た際、できるだけ大きく快適な公園となるよう要望した。 公園リニューアル箇所数 4箇所 西中央公園（流水施設改修、広場整備） ココネ広場（休憩施設（ベンチ）改修） ふれあい公園（雨水対策、舗装改修） ふじみ野市運動公園（拡張部子ども広場整備） 大井弁天の森用地取得 地権者から承諾を得て「大井弁天の森特別緑地保全地区（第2期）」の都市計画決定を行った。 遊具撤去数 2基 遊具設置数 9基 公園利用申請件数 58件 市主催、共催行事（上福岡七夕まつり、おおい祭り等） 8件 自治組織等（地区祭り、防災訓練等） 10件 一般利用（イベント、フリーマーケット等） 40件 公園・緑地愛護会数 41団体 公園・緑地愛護会連絡調整会議 令和3年3月 （コロナウイルスの影響により会議形式ではなく、書面による意見交換会に変更し開催した） <p>課題は、限られた財源の中で公園のリニューアルを実施する必要があるため、どの公園のどの部分をリニューアルするか検討を行う必要がある。また、開発行為以外に公園の面積を増やす方を検討する必要がある。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市全体として公園施設が老朽化しており、修繕や更新整備が必要な状況にあることから、本事業の継続が必要である。 市民にとって安全安心な公園を提供するためにも、限られた財源の中で計画的かつ効率的に公園の維持管理及びリニューアルを実施していく。
中長期的方向性	
継続	※令和2年度については、緑地管理事業と統合し「公園緑地管理事業」となるため従事人数が増えている。また、公園新設事業が令和元年度で完了し、そこに割り振られた人数を他事業に割り振っていること、道路課より営繕担当の職員が2名異動してきたことから本事業の従事人数が増えている。

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		有料公園施設等管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	30 公園・緑地 一公園を増やし、緑地の保全に努めますー			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 04公園費			
所管部課		都市政策部 公園緑地課		評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		平成24年～		評価日	令和3年6月23日
個別計画 根拠法令・条例等		都市公園法、ふじみ野市都市公園条例、ふじみ野市荒川第2運動公園条例、ふじみ野市びん沼サッカー場条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。また、指定管理者制度の導入により施設の利用率向上を図る。			
	事務事業の経緯	平成24年度から指定管理者において管理運営事業を実施する。			
	事務事業の概要	有料運動公園施設（ふじみ野市運動公園、ふじみ野市第2運動公園、荒川運動公園（管理棟含む）、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場）の管理運営を指定管理者が一括して行う。 市は指定管理者に管理運営の業務委託を行う。			
	令和2年度の主な取組	令和元年度に新たな指定管理者の選定を行い、前回に引き続きアイル・オーエンスグループが指定管理業務を行うこととなった。その指定管理者と連携し、ふじみ野市運動公園をはじめとする有料公園施設等の管理・運営を実施した。 令和元年度、ふじみ野市第2運動公園の多目的球場が完成したことから有料公園施設の全ての施設がオープンとなり、施設整備後初めて1年間フルオープンという形で施設の管理・運営業務を行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	1.00	
		人件費	3,989	8,057	
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	
		人件費	0	0	
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	
	人件費	0	0		
人件費計		3,989	8,057	8,057	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	29,791	1,057	1,200	
	委託料	52,060	50,273	49,055	
	使用料及び賃借料	2,460	2,460	2,304	
	工事請負費	0	495	0	
	負担金、補助及び交付金	16	152	16	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	3,677	1,063	83	
支出合計		91,993	63,557	60,715	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	574	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	96	100	96
		分担金・負担金	183	205	120
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		91,714	62,678	60,499	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		802	539	528	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	有料公園施設の利用率の向上【令和2年度新規指標】		
	説明	有料公園施設（ふじみ野市運動公園、ふじみ野市第2運動公園、荒川運動公園、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場）の利用率について令和6年度の利用率35.0%を目指す（令和元年度比1,340コマ増）。 利用率（%）=利用コマ数÷総利用可能コマ数×100 【参考：令和元年度32.9%】		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0.00	33.30	33.70
	実績値	32.90	38.80	
指標 2	指標名	利用者満足度調査の満足度【令和2年度新規指標】		
	説明	指定管理者が毎年度行う満足度調査の総合満足度において、有料公園施設の「満足」「やや満足」の満足度を95%以上確保する。 【参考：令和元年度100%】		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	0	95	95
	実績値	100	99	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>指定管理者による管理運営業務により、有料公園施設の利用率向上を図った。結果的には、施設全体の利用率は38.8%となり昨年度より5.9ポイント増加し目標を上回った。この原因は新型コロナウイルスの影響により、旅行等を控える要請が出たため身近な施設で身体を動かしたいということから利用率が高くなったと推測する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率・・・カッコ内は令和元年度実績 ふじみ野市運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 野球場 36.1% (39.8%) テニスコート 70.7% (57.5%) フットサルコート 30.9% (14.7%) ふじみ野市第2運動公園 <ul style="list-style-type: none"> アリーナ 74.3% (64.6%) 卓球場 24.5% (18.4%) 剣道場 26.0% (13.0%) 柔道場 30.1% (29.1%) 多目的球場 27.0% (34.8%) 荒川運動公園 15.3% (20.8%) 荒川第2運動公園 17.9% (19.3%) びん沼サッカー場 24.0% (25.6%) 【全体】 38.8% (32.9%) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査 <p>指定管理者を導入したことにより細かい管理運営ができるようになったため、指定管理者と利用者とのコミュニケーションも密になり、苦情・要望等についても迅速に対応できるようになった。 アンケート調査の結果は「満足」「やや満足」の満足度が99%という結果となり、高い満足度を確保することができた。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	「元気・健康都市宣言」により市民の健康増進への意識が高まっており、市民の運動施設への要求も高くなってきている。このような状況の中、指定管理者制度を導入することによってより細かいサービスの提供を行う必要があるため、本事業の継続が必要である。 令和元年度、ふじみ野市第2運動公園の整備が完了しフルオープンしたことから、有料公園施設全体の利用率向上について取り組んでいく。
中長期的方向性	
継続	※令和2年度については、公園新設事業が令和元年度で完了し、そこに割り振られた人数を他事業に割り振っていること、道路課より営繕担当の職員が2名異動してきたことから本事業の従事人数が増えている。

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		緑化推進事業	前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	30 公園・緑地 ー公園を増やし、緑地の保全に努めますー		
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 05緑化推進費		
所管部課		都市政策部 公園緑地課	評価責任者	北澤 豊
事務事業期間		昭和49年度～	評価日	令和3年6月23日
個別計画 根拠法令・条例等		生産緑地法、ふじみ野市みどりの条例、ふじみ野市生産緑地地区の区域の規模に関する条例、ふじみ野市緑の基本計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	市内に残されている緑の保全・保護及び開発行為に伴う緑化の推進及び啓発。 生産緑地地区の管理。		
	事務事業の経緯	旧上福岡市では保存樹木の指定を旧大井町では保存樹木の指定と緑地保護地区の指定を実施してきたが、合併後はふじみ野市みどりの条例により事務事業を実施している。 平成4年に指定された旧上福岡地区の生産緑地地区と平成20年に指定された旧大井地区の生産緑地地区の管理を行っている。		
	事務事業の概要	ふじみ野市みどりの条例に基づき、市街地の中に残された屋敷林や一団の雑木林、貴重な樹木を計画的に保護・維持するために、緑地保護地区や保存樹木の指定を行い、管理協定を締結することにより、環境と共生するまちづくりを進める。 生産緑地地区について、追加の指定及び既存地区指定の解除、特定生産緑地の指定に関する業務を行う。		
	令和2年度の主な取組	緑地保護地区に指定された土地や保存樹木に指定された樹木の所有者に対し、管理料を交付した。 緑地保護地区と保存樹木の登録件数は年々減少傾向にあることから、市のホームページにて追加募集を行った。 生産緑地地区について、新たに7地区の指定を行った。 特定生産緑地について、旧上福岡地区の地権者に対しアンケート調査を実施した。また、令和3年度から実施する特定生産緑地の指定に関する申込書を各地権者に配布した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	1.40
		人件費	3,989	11,280
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		3,989	11,280	11,280
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	11	14	115
	委託料	0	0	911
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	424	433	469
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	216	214	264	
支出合計		4,639	11,941	13,039
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	85
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		4,639	11,856	13,039
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		41	102	114

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	緑地保護地区の面積を守る		
	説明	街の都市化により年々減少して緑地保護地区を維持する。 令和2年度の実績において緑地保護地区の面積が110,811㎡であったため、令和3年度の目標値を見直し、111,429㎡から110,811㎡に変更する。		
成果	単位	㎡		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	116,425	111,429	111,429
	実績値	111,429	110,811	
指標 2	指標名	保存樹木を守る		
	説明	街の都市化により年々減少している保存樹木を維持する。 令和2年度の実績において保存樹木の本数が121本であったため、令和3年度の目標値を見直し、133本から121本に変更する。		
成果	単位	本		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	142	133	133
	実績値	133	121	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>緑地保護地区に指定された土地や保存樹木に指定された樹木の所有者に対し、管理料を交付し、既存緑の保全を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地保護地区管理料交付金 221,622円（令和2年度支払額） ・保存樹木管理料交付金 181,500円（令和2年度支払額） <p>緑地保護地区や保存樹木は、近隣住民からの苦情等により土地所有者が樹木を伐採してしまったり、相続発生時に売却してしまったりするため、年々減少していることから、新規募集を市のホームページにて行った。これらの制度は、市から交付している管理料だけでは十分な管理ができないという課題があるため、どのようにしたら適正な維持管理を行ってもらえるかを検討する必要がある。</p> <p>生産緑地地区に関する業務について、追加募集を行い新たに7地区の指定を行った。この結果、少しでも多くの緑を確保することができた。</p> <p>また、特定生産緑地については、旧上福岡地区の地権者に対しアンケート調査を実施し現在の指定意向確認を行うと共に、令和3年度から実施する特定生産緑地の指定に関する申込書を各地権者に配布した。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>緑の基本計画における市民アンケートでも緑の質や量についての要望は高い。また、生産緑地地区に関する業務については、引続き生産緑地地区の追加指定及び特定生産緑地の指定を行う必要があるため、今後も本事業の継続が必要である。</p> <p>※令和2年度については、公園新設事業が令和元年度で完了し、そこに割り振られた人数も他事業に割り振っていること、道路課より営繕担当の職員が2名異動してきたことから本事業の従事人数が増えている。</p>
中長期的方向性	
継続	